

《担当者名》 浅野雅子 児玉壮志 近藤里美

【概要】

精神障害によって引き起こされるさまざまな生活機能障害に対する効果的なりハビリテーションについて、現在、効果検証がなされている介入・指導の方法や関連する最新の技法について、その理論や支援技術に関する理解を深めるとともに、それらを臨床実践に活かすことができるためにはどのような点に留意すると良いかを学ぶ。

【学修目標】

1. 精神障害リハビリテーションの概念や理念について十分専門的に説明できるとともに、その今日的課題を整理し、課題解決に向けて客観的、実証的に研究計画を立てることができる。
2. 精神障害リハビリテーション領域における各種技法や動向、および現状について十分専門的に説明できるとともに、対象者に適合させて実践を行う際の留意点をまとめることができる。

【学修内容】

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
1	オリエンテーション	講義の概要、学習目標・内容、スケジュール、学習方法の説明を行う。	浅野雅子 児玉壮志 近藤里美
2 ） 15	精神障害リハビリテーション	精神障害に対するリハビリテーションの理解と援助、評価や各種技法やその実践内容について最近の動向も交えながら概説・ディスカッションを行い、理解を深める。	浅野雅子 児玉壮志 近藤里美

【授業実施形態】

面接授業と遠隔授業の併用

授業実施形態は、各学部（研究科）、学校の授業実施方針による

【評価方法】

講義への参加態度（30%）、課題（40%）およびディスカッションへの参加状況（30%）により評価する。

【教科書】

適宜資料を配布・紹介する。

【備考】

講義とディスカッションを中心に進め、当該領域の理解を深める。

【学修の準備】

日頃から精神科リハビリテーションについて関心を持ち、関連分野に関する文献等を各自調査し、学習してください。（予習80分、復習80分）

【実務経験】

浅野雅子（作業療法士） 児玉壮志（作業療法士） 近藤里美（音楽療法士）

【実務経験を活かした教育内容】

医療機関や地域での臨床経験を活かし、最近の動向や知見を交えた講義・ディスカッションを行う。